

CSI 委託事業 海外出張報告書

平成 21 年 4 月 16 日

所 属：筑波大学附属図書館情報管理課
氏 名：金藤 伴成

下記の通り報告いたします。

期 間	平成 20 年 11 月 16 日 ～ 平成 20 年 11 月 23 日
出 張 目 的	(1) The SPARC Digital Repositories Meeting 2008 への参加 (2) カナダのリポジトリ関係機関への訪問・意見交換
用 務 先	(1) Renaissance Harborplace Hotel in Baltimore : ボルチモア【アメリカ合衆国】 (2) Canadian Association of Research Libraries(CARL), Ottawa University, International Development Research Centre(IDRC), Canada Institute for Scientific and Technical Information(NRC-CISTI) : オタワ【カナダ】
用 務	(1) ミーティング全体に参加。および Innovation Fair において学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJ)を紹介 (2) カナダおよび日本の機関リポジトリについての意見交換
出 張 内 容	<p>(1) The SPARC Digital Repositories Meeting 2008 参加 ミーティングには日本からは講演者、共催者(SPARC Japan / NII)を含めて 10 名が参加した。</p> <p>11 月 17 日 (月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Opening Keynote Science Commons の John Wilbanks 氏の基調講演。 ・ New Horizons 学術論文のプレプリント、ポストプリントにとどまらない機関リポジトリのコンテンツについて講演・議論が行われた。 ・ Value-added User Services IR のサービスにどのような付加価値をつけるかという論点で各講演、ディスカッションが行われた。このセッションでは金沢大学附属図書館の内島秀樹課長が DRF の活動など国内の数多くの事例を紹介した。 ・ Innovation Fair http://sparc08.crowdvine.com/questions/show/19836?tag=INNOFAIR 筆者を含む約 20 組がそれぞれの機関等の取り組みを発表した。筆者は筑波・千葉・神戸・東京工業の 4 大学が共同構築している学協会著作権ポリシーデータベース (SCPJ) を紹介した。報告後に参加者から「SCPJ のグレー(著作権ポリシー検討中・非公開)の考え方は面白い」という趣旨のコメントをもらった。 <p>11 月 18 日 (火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Policy Environment 各国・地域の政策についてのセッション。千葉大学の土屋俊教授は 4 年前の同じ日 (2004 年 11 月 18 日) に講演した自身のスライドを引用しながら、国内のリポジトリの増加, JAIRO や地域共同リポジトリの出現などこの 4 年間に日本で起こった変化について述べた。 ・ Campus Publishing Strategies キャンパスにおける「出版社」としてのリポジトリの役割について講演と議論が行われた。 ・ Luncheon Keynote Witeck-Combs Communications 社 CEO の Bob Witeck 氏による基調講演

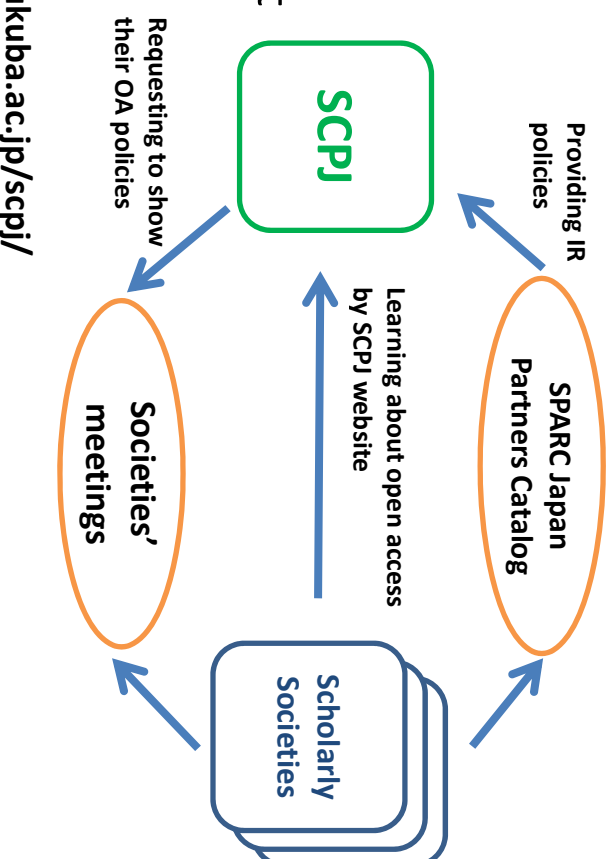
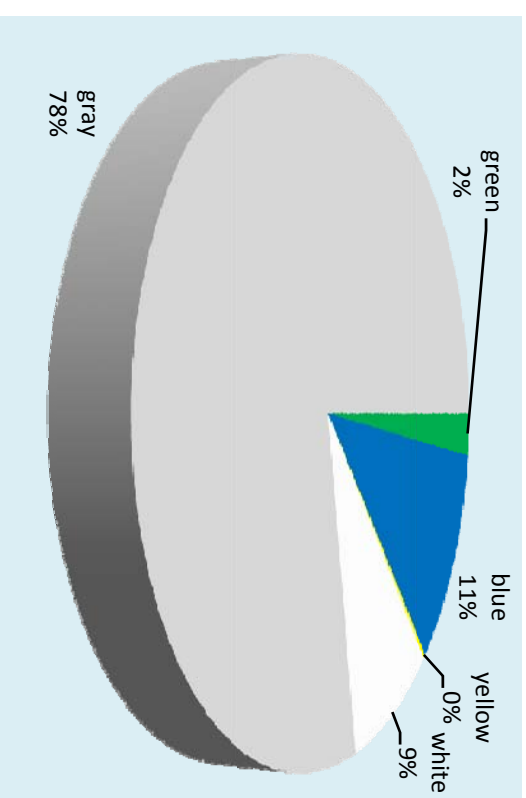
出張内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ Marketing Practicum テーブルごとに分野が決められ、各分野の架空の人物プロフィールを基にどのようにリポジトリをプロモーションするかという課題が与えられた。日本からの参加者も課題に取り組んだ。 ・ Closing Keynote National Association of State Universities and Land-Grant Colleges (NASULGC)の David Shulenburger 氏による締めくくりの基調講演 <p>ミーティングの成果(各講演のスライド、音声など)は次の URL からアクセスできる。http://www.arl.org/sparc/meetings/ir08/outcomes/index.shtml (accessed 2009-04-16)</p> <p>(2) カナダのリポジトリ関係機関への訪問・意見交換 各機関へは北海道大学附属図書館の野中雄司氏とともに訪問した。</p> <p>11月20日(木)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Canadian Association of Research Libraries(CARL), Ottawa University Brent C. Roe (CARL Executive Director)、Diego Argaez (CARL Research Officer)、Sam Popowich (オタワ大学図書館)の3氏からカナダにおける学術機関リポジトリの現状を聞いた。また、日本における機関リポジトリのアウトラインを紹介すると同時に具体例として HUSCAP(北海道大学)、Tulips-R(筑波大学)の各機関リポジトリ、機関を横断するプロジェクトとして AIRWay と SCPJ について概要を説明した。 2. International Development Research Centre(IDRC) Barbara Porrett (Manager, Systems and Collections)、Sachiko Okuda (Research Information Specialist)の両氏から国際機関としての IDRC の概要、リポジトリへの取り組みについて話を伺った。 <p>11月21日(金)</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Canada Institute for Scientific and Technical Information(NRC-CISTI) Alison Ball(Manager, NRC e-library)、Naomi Krym(Business Development Officer)の両氏から NRC-CISTI が公開を予定している機関リポジトリ NRC Publications Archive (NParC)について、構築の経緯、システムの概要、コンテンツ収集の戦略(特にマンドートの方針)について伺った。 <p>なお、オタワの各機関への訪問に当たっては CARL の Kathleen Shearer 氏 (CARL IR プロジェクト責任者) に日程等をアレンジしていただいた。</p>
出張成果	<p>(1) SPARC Digital Repositories Meeting 2008</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Innovation Fair の中で学協会著作権ポリシーデータベース(SCPJ)を紹介し、日本におけるリポジトリ活動/コンテンツ獲得のための著作権処理活動の一端を各国のリポジトリ関係者に理解してもらった。 2. 以下の記事を執筆し、ミーティングの様子を国内に報告した。 金藤 伴成. “集会報告：SPARC Digital Repositories Meeting 2008”. 情報管理. Vol. 51, No. 11, (2009), 833 - 836. http://hdl.handle.net/2241/101680 (accessed 2009-04-16) <p>(2) カナダのリポジトリ関係機関への訪問・意見交換 カナダの機関リポジトリ、オープンアクセスで主要な役割を果たしている各機関との意見交換を通じて両国の IR, OA の現状について相互理解が進んだ。</p>

SCPJ Project



to promote awareness of Japanese scholarly societies toward open access

- About SCPJ
 - “SCPJ” (Society Copyright Policies in Japan) is a copyright policies database of Japanese scholarly societies modeled after SHERPA/RoMEO
 - Out of 1,815 policy data, 78% are in the new fifth “gray” (i.e. no definite policy) category
- Collaborative Project with Societies
 1. Open access campaign through our website
 2. Use of “SPARC Japan Partners Catalog”
 3. Promotion visit to societies’ meetings
- May I ask ... ?
 - How do you check the open access policies not in SHERPA/RoMEO to submit research papers to your repository?
 - How do you share these policies with other universities/institutions?



<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>